

5年ぶりとなる組織拡大ターミナル宣伝実施



支部トラック・海コン部会



適正料金を収受させトラックドライバーの生活を改善させよう！



ドライバーへビラを配布

阪神支部トラック・海コン部会は5月10日、「組織拡大ターミナル宣伝行動」を夢洲コンテナターミナル（DICT）と南港C8コンテナターミナル前で行い、執行部14名が参加しました。

この宣伝行動は、トラック・海コン労働者に対し、マイク宣伝やビラ配布により、DICTに搬入待ちをす



宣伝カー3台14名で行動

る物流情勢の報告や社会の様々な課題を問題提起し、阪神支部の活動の理解や組合加入を促す目的として行ってきた歴史ある独自の運動です。

2024問題 ドライバーに 安全安心を！

これまで新型コロナウイルス感染症拡大の影響で同行動を自粛してきた経過もあり、5年ぶりの宣伝行動となりました。

適正運賃を！ 働きやすい環境を！

また松本副委員長（同部会事務局長）は、「海コン業界は大手荷主や元請事業者による過度な運賃ダンピングによって、中小運送事業者が経営難に陥り困窮している。労働者は働いても働いても賃金があがらず、離職を考えざるを得ない者も出ているなかで阪神支部は行政に対して改善要請や元請事業者に対しても問題提起を行い、運動してきた」と紹介しました。

続いてマイクを握った廣渡書記次長（同部会委員）は、慢性化しているコンテナヤードの渋滞問題解消に向けた運動の結果、コンテナ車の待機場所設置を実現させた実績や港頭地区の違法駐車、車両や歩行者の通行を妨げる樹木の剪定な

ど、地域での様々なブロック活動の運動の成果を紹介しました。

大阪にカジノは いらない！

さらにDICTに隣接する万博会場のアクセスについて、夢洲に入るには鉄道1本と接続する道路は夢舞大橋と夢咲トンネルの2ルートしかなく、通常の海上コンテナやトラックの往来に加え、各地から万博会場へのシャトルバスや工事車両が集中し、港湾で働く者にとって「交通渋滞」が最大の懸念材料であると訴えるとともに港湾物流に影響が出ないよう対策を求めている。

各ドライバーに手渡す際には、快く受け取ってもらえ、「苦労様」「頑張ってください」と激励の言葉も多く寄せられました。

支部トラック海コン部会は、引き続き重要な活動として位置づけ、次回の宣伝場所を神戸に設定し、準備することを確認し終了しました。

執行委員 鈴木 大介



DICTの待機レーンの前で宣伝行動



慰問無礼を辞書はこう解説している。「いんぎんぶれい」うわべは丁寧だが、じつは相手を見下していること。この四字熟語がこれほど当てはまる例をみた記憶はあまりない◆水俣病の患者らと環境大臣の懇談会で、積年の思いをぶつける82歳男性のマイクの音を環境省の職員が突然切った。「約束の3分が過ぎた」からと◆訴えていた男性はこの日に向けて何度も原稿を練り、ふりがなもふって3分で収められるよう練習を重ねていた。物腰の低い司会の声とは裏腹の態度に環境省の本音があぶり出された◆この懇談会の直前、水俣病の公式確認から68年の式典で小6の男の子が祈りの言葉を述べている。「悔しい思いをしながらも差別に立ち向かい、精いっぱい生きたい姿はかつこよかった。そんな大人になりたい」◆語り部から苦難の日々を学び、水俣に誇りを持ったそうだ。公害の原点と呼ばれる水俣病は半世紀以上がたつ今も終わっていない。国を相手にした訴訟の原告は全国で1700人を超える。ほとんどが高齢者だ◆環境大臣が熊本まで出向き、会の出席者に謝罪した。その姿は少年の目にどう映ったか。

世界各地で労働者が集結

第95回メーデー

大阪

苦痛の時代を
乗り越えて

5月1日、「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」をメインスローガンに、世界の労働者と連帯し、第95回大阪メーデーの集会が開催され、扇町公園に働く仲間3000人が集結しました。

労働組合解体が第二次世界大戦への道を開くことにもつながったという苦い経験から、平和の課題を何よりも重視し、経済闘争と政治闘争を結合してたたかってきました。

労働組合こそ暮らしと平和の守り手です。

「物価高を上回る大幅賃上げ」とともに「大軍拡をやめ、税金を暮らしと教育に」「9条を生かした外交で東アジアの平和を築こう」を掲げ、国民的運動の先頭に立ちましょう。

いま世界の労働

世界各地で 立ち上がる労働者

者と労働組合は、日本のたたかう労働組合と共通の課題を掲げ、大規模なストライキやデモ集会で要求を勝ち取っており、労働組合の結成も進んでいます。

賃金・労働条件の底上げと改善による個人消費の安定した拡大こそが日本経済再生の力であり、労働分野から見ても急務です。



扇町公園に3000人の働く仲間が集結



大阪ブロックで作成した横断幕を掲げて行進



主催者挨拶に立つ兵庫労連の成山議長



メーデー パレード仕様の宣伝カー



主催者を代表して挨拶に立つ菅実行委員長（大阪労連議長）



大阪港にカジノはいらん！



発表を行う鈴木港湾共闘議長



みなとの森公園から2kmをパレード

兵庫

執行委員 池口 光洋

5月1日、神戸みなとのもり公園にて第95回兵庫県

防衛費よりも 社会保障を

開会式にて兵庫労連の成山太志議長は世界の情勢、紛争地域についてふれ、政府が防衛費増額を進めている現状に対し、「社会保障や消費税、最低賃金等を改善し、国民の負担を減らす

ことが必要かつ重要ではないか」と訴えました。

また、各組織からの決意表明では「物流の2024年問題」や「公立高校の統廃合問題」「マイナンバーカードの保険証利用問題」について、現場で働く者からの切実な声が上がリ、「国民や働くものへの負担を押し付ける改悪に反対し、安全安心な職場環境を作るのが重要だ」と訴えました。

執行委員 山本 英生

その後、8つのメインスローガンを採択し、シュプレヒコールで市民に訴えながら、県公館北側までパレードしました。

おおさか総がかり集会

輝け！憲法

平和といのちと人権を

5月3日、扇町公園において「輝け！憲法 平和といのちと人権を」をスローガンにおおさか総がかり集会が開催されました。

当日は雲一つない快晴で、参加者は主催者発表で3000人。阪神支部からは執行部・分会合わせて23人が参加しました。

開会のあいさつでは、丹羽 徹さんは、

（大阪憲法会議・共同センター）が、「ちょうど10年前、2014年は安倍内閣による憲法9条の集団的自衛権に関する政府解釈を一方的に改悪し、集団的自衛権の行使を可能にした。それから10年、岸田政権は大軍拡に突き進んでいる。何としてでも止めなければならぬ」と話されました。

メインスピーカーの川崎 哲さん（ピースボ



扇町公園からパレードへ



参加者全員でポテッカーを掲げて平和を訴える

クライナやガザで起きている凄惨な戦争を何としてでも私たちの力で止めなければならぬ。

私たちは日本が核兵器禁止条約に加わるよう働きかけ平和憲法を生かし、声を上げ続ける。平和の話題を声に出すことで必ずわかつてくれる仲間がいる、その事を続けよう」と訴えられました。

集会後はパレードを行い「いかそう憲法・とめよう



パレードで市民へ平和を呼びかける

5・3兵庫憲法集会

戦争させない、9条壊すな！

憲法はあなたの命と未来のサポーター

5月3日の憲法記念日に神戸はみなとの森公園にて「戦争させない、9条壊すな！憲法はあなたの命と未来のサポーター」のタイトルで5・3兵庫憲法集会が開催されました。

阪神支部からは執行部・分会・青年部・神戸ブロックから併せて15名が参加し、主催者



川口 真由美 & カオリンズ

書記次長 廣渡 信次



メインスピーカー 内田 樹さん

のち、「これまでの9条を守るたたかいは、どちらかといえば内向きなたたかいであったが、世界秩序が変わってしまおうとしている今日、これまでは違った視点で、わが国の安全保障のあり方、どうすれば日本が9条を残して平和国家として生き残れるのかを考えていかなければならない」と訴えました。

発表では全体で5000人が参加しました。開会の30分前には「川口真由美&カオリンズ」によるミニコンサートが行われ、晴天の空の下、パワフルで素敵な音楽と歌声が響き渡りました。

開会で主催者あいさつに立った羽柴 修弁護士はウクライナやガザでの戦争の現実と悲惨さを訴え、「日本を軍事大国にするべく、政府は国民を無視し、国民が知らないまま戦争に関する法案を次ぎに成立させている」とし、「軍事で平和はつけない。子供たちを戦争に向かわせないために平和について考え、憲法9条について考え、守り続けよう」と訴えました。

メインスピーカーの内田 樹さんは南北戦争からのアメリカの歴史についてふれ、今年アメリカで行われる大統領選挙の結果が世界や日本にどのような影響をおよぼすかの解説をされた

安全保障のあり方、どうすれば日本が9条を残して平和国家として生き残れるのかを考えていかなければならない」と訴えました。

会場全体でスローガン「平和憲法を守れ！憲法9条を壊すな！命と人権を守れ！ウクライナに平和を！ガザに平和を！軍事大国化反対！戦争法は絶対廃止！辺野古新基地建設反対！」のシュプレヒコールを行いました。

第26代高校生平和大使兵庫県代表の松尾 美雨さんによる平和への希求と訴えのスピーチが行われました。

10代で平和の大切さに気付



神戸ブロック、青年部からも参加



快晴の下、パレードに出発

その後、3つのコースへ分かれてシュプレヒコールや宣伝カーでスローガンを訴えながらパレードを行いました。

副委員長 道下 拓也

魅力ある産業構築のために 関係各省に申し入れ

関西地本トラック・旅客部会



国土交通省近畿整備局への要請

し、トラック・バス労働者の労働環境改善や魅力ある物流産業構築に向けての要請を行いました。

トラックドライバーの労働環境について

近畿整備局に対しては、従前より海上コンテナ輸送に特化した問題であるため、河野委員長（支部トラック海コン部会長）を中心に阪神支部の委員6名と樋口地本書記長・久保田支部書記長も参加しての行動となりました。

整備局は、総務部総務課・建設専門官と道路部・道路構造保全官の2名が対応しました。
特殊車両通行許可については近年、申請方法がデジ

タル化され迅速に行われるようになりましたが、未だに一部の荷主先で狭あい道路を通行していることを再度指摘しました。

また異常気象による立往生が発生し、トラックドライバーが過酷な労働環境に置かれていることや、社会問題になったトラック車輪の脱落、24問題に係るパーキングエリアの駐車スペースの増設、高速道路の深夜割引等、多岐にわたり要請しました。

各要請項目に対しそれぞれ回答を受け、さらに来年の大阪万博開催による物流対策を項目に加え、我われの重要拠点である夢洲の物流をより安全、円滑にできるように要請しました。

それに対し整備局は「万博工事についてソフト面・ハード面に対応している。コンテナ車両の待機場も拡張している。今後、CONPASも導入して滞留を軽減するように対応してい

く」と回答がありました。

意見交換では、トラックの積載物について生産性向上を理由に長さ・幅・高速道路での速度規制がそれぞれ緩和されていることから、ドライバーに負担を強いることでの安全性への懸念を指摘しました。また、特定指定港湾や空港について、大阪港が軍事利用されることの無いように強く要請しました。

標準的な運賃や

安全面について

同日午後からの近畿運輸局に対する要請では、関西地本トラック部会・旅客部会として組合側総勢14名で臨みました。運輸局側も自動車交通部旅客課をはじめ貨物課、保安環境課、自動車監査指導部等が対応しました。

それぞれ担当者より回答を受け、その後意見交換では現場の意見として①フレキシブルタンク輸送②車輪

分かるかな？

懸賞クイズ



【問題】

難読地名クイズ 読み方を教えてください。

- ① 嫌侶 ② 奥入瀬 ③ 美浦 ④ 石神井
⑤ 四十万 ⑥ 宍粟 ⑦ 太秦 ⑧ 美作
⑨ 特牛 ⑩ 土々呂 ⑪ 四万十

676号の回答

「ド・レだけ練習しても上手にならない」

1名の方から応募があり、正解でした。正解者にはQ.U.Oカードを進呈します。

田中 俊行（内外フォーワードینگ）

677号の締め切り日は、6月21日（金）です。ふるってご応募ください。



労働局へ要請文の提出

の脱落事故③標準的な運賃の関係各所への周知徹底④秋田港のトラック自動運転の実証実験、また旅客についてはドライバー不足や経営困難等で路線の廃止や縮小が相次いでいるが、AIによるオンデマンドバスが運行している都市部と農村部での人流の格差や、安全面を指摘しました。

また、5月には中央本部として本省に要請行動を行うため、関西からの要請内容を確実に上申することを付け加え要請行動を終了しました。

労働局側は、労働基準部監督課監督官・賃金課・指導課が対応しました。

労働局へ要請文の提出

働き方・賃金の問題 24問題まで幅広く

26日には厚生労働省大阪労働局へ関西地本として出向き、河野部会長をはじめ13名が参加しました。

要請では根幹である働き方・賃金に係る問題に加え、24問題で今年から大きく変わることへの期待と同時に危惧する事項も多く、要請項目は9項目でしたが意見交換の時間は最長となりました。

特に、賃金については「同一労働・同一賃金とうたっているが、合理性と不合理性についての違い、再雇用者としての待遇や政府が定めている70才までの就労の努力義務、公的年金の受給や労働時間について、規制はあるがなかなか厳しい現状がある」と現場の意見を反映させることを訴えました。

労働局へ要請文の提出

